

保護者等向け 2023年度 児童発達支援 自己評価表（ルブレいなぎ児童発達支援事業所）

公表：令和6年2月1日

事業所名 ルブレいなぎ 児童発達支援事業所

保護者等数(児童数) 55(56)

回収数 38

割合 69 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	76%	21%	0%	3%	狭いと感じる部分もありますが活動によって場所を変えているので問題ないと思います。	法令に基づいたスペースです。お子さんが安心して主体的に遊べるよう、仕切りを活用して構造化する。2つのグループに分けて活動するなど工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	82%	3%	0%	16%		法令に基づいた人員配置です。保育士、児童指導員、言語聴覚士、心理士を配置しています。月1回程度、大学教授・作業療法士・言語聴覚士のスーパーバイザーからグループ療育と個別療育のスーパーバイズを受けています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	89%	3%	0%	8%	絵カードで分かりやすいです。	玄関外にスロープ、室内は段差の無い作りになっています。今年2月に駐車場のアスファルト舗装を実施しました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	92%	3%	0%	5%		お子さんの帰園後には机・椅子などの消毒を行っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	89%	5%	0%	5%	どの程度がベストなのかまだ分からない。成長しているから不測はない。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	79%	5%	0%	16%		保護者の方に支援の意向を確認した上で「発達支援」を主軸とした支援計画を作成しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	95%	3%	0%	3%	保育園とも連携して提出してくれると尚良い。	年1回程度、お通いの幼稚園・保育園に訪問させていただきます。訪問時のお子さんの様子や先生と情報共有した内容は後日ご報告します。必要な方には保育所等訪問支援のサービスをご案内します。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	89%	5%	0%	5%	お家では体験できないような楽しい活動がいっぱいあります。いつも違うプログラムです。	活動を繰り返し行うことで、理解の深まりや表出の向上につながることもあります。お子さんの発達段階によって繰り返し経験してけると良い動作や内容は同じ活動を行っています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	16%	21%	34%	幼稚園にも通っているため交流はある	2歳児親子グループは、大人との関わりをメインとしているため保育園や幼稚園のお子さんとの関わりを持つ機会は設けていません。3～5歳児グループは、保育園や幼稚園に通っている方がほとんどのため、通っている保育園や幼稚園との連携を重視しています。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	0%	0%	8%		初回契約時に説明させていただいていますが、質問や気になったことなどがありましたら遠慮なくお問い合わせください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	87%	3%	0%	11%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	45%	21%	8%	26%	相談すると家庭での対処方法を提案していただきます。相談等と一緒に考えアドバイス頂いています。	ペアレントトレーニングは実施していませんが、勉強会（年2回）、保護者交流会（年1回）、クラス交流会（年1回）を実施し、お子さんの育ちについて考える機会を設けています。今年度は2歳児親子グループにおいて決まったテーマで関わり方について話す機会を設けました。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	89%	8%	0%	3%	サービス提供記録に書いたことについて毎回お返事やアドバイスを送り、気にかけていただいています。一緒に考え、共有・共感をしてください親の心のよりどころでもあり助かっています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	87%	0%	5%	8%	もっと助言・相談してほしい。	年に2回個別支援計画面談を行っています。それ以外でもご希望があればご連絡ください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	42%	24%	11%	24%		保護者交流会を1回実施いたしました。また、家族でご参加いただく土曜イベントを1回実施し、交流の機会を設けました。父母の会の活動はありません。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	84%	5%	0%	11%	もっと増やしても良い。	随時希望面談を設けておりますので、何かありましたらお声掛けください。

	17	子どもや保護者との息患の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89%	5%	0%	5%	毎回コドモンで配信される活動の写真を楽しみにしています。 通所する度にその日の様子を詳しく教えてくださりとても助かっています。	今年4月から連絡アプリ『コドモン』を導入し、グループ療育の様子を毎日10枚程度写真掲載しています。 毎月『ルフレ便り』にてグループ療育の様子や予定をお伝えしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	76%	8%	0%	16%	コドモンの活用で家族でも共有できありがたいです。 去年要望を出した『個別の振替日程が適切に共有されていない』という件はメールやポストイトでお知らせいただけるようになって大変助かりました。駐車場の件も他の利用者の方に再周知してくださったり傍りの会の間にお話を廣ま世に来てくださるようになりとてもスムーズにできました。 注意はされているがメールの誤送信があったので今後さらなる注意が必要。	自己評価結果を公表する際には保護者の方にホームページのURLをお知らせします。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	84%	11%	0%	5%		『コドモン』での連絡では宛先間違いの誤送信をしてしまい申し訳ありませんでした。送信前にダブルチェックをしています。 法人の個人情報保護規定を順守し、個人情報はキャビネットに保存施設しています。 個人情報に関する取り扱いを職員間で確認します。配布時に配布間違えがないかを再度チェックするようにしています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	84%	0%	3%	13%		5月にグループ療育利用者に災害時対応のパンフレットを配布しました。 今年度は『安全計画』を策定しました。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	74%	0%	0%	26%		毎月避難訓練を実施しています。 年2回171伝言ダイヤルの練習を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	95%	3%	0%	3%	幼稚園よりもルフレに通うのが楽しみなようです。 楽しく通ってくれています。 とても楽しみにしています。 とても楽しみにしています。最近は一度もイヤと言わないで通っています。	これからお子さんの発達段階や興味に合わせた活動を提供し、通所を楽しみにしていただけるように工夫してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	92%	5%	0%	3%	できることも増えて楽しそうです。クラス構成にも満足しています。 興味あることは思いっきり楽しみ、あまり興味の無い活動は無理せず楽しめるように考えてくださりありがとうございます。	お子さんのことなど今後にもなることがありましたら、お気軽にご相談ください。 今後より良い支援が提供できるよう努力してまいります。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。